

だい ぶ かだい
第5部 課題

だい かい
第17回

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール

ぜんこくたいかい
全国大会

か だい
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん
第5部 和文A 小学生低・中学年

かんようく
ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

1. けいぎいいん しじ しょうし て ふ
競技委員の指示があるまで、この用紙に手を触れないでください。
2. けいぎいいん しじ けた さんかばんごう はんかくすうじ にゅうりよく
競技委員の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. かだい にゅうりよく ぜんかくもじ かいぎよう じすう かぞ
課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数え
ます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,800字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく いんよう ぶんしょう げんぶん と こ
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、ぎょうとう ぎょうまつ きんそくもじ く ばあい かだいぶんしょう
行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省



もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか

1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所では改行 (Enter) してください。


 目をうばわれる 


目をひきつけられるほど、すばらしい。 

五月のわかばは、目をうばわれるほどあざやかだ。 





えりを正す 


まじめな気持ちになって身じまいをただし、きちんとする。 

ぼくは、いれいひに、えりを正しておまいりをした。 





こしが強い 


がまん強くねばり強い。すぐに負けたり、よわねをはいたりしない。 

かれはこしが強いから、こんどの研究も成功するにちがいない。 





道草を食う 


よこみちにそれて手間どる。とちゅうでおだな時間をついやす。 

ともだちとのおしゃべりで道草を食っていたら、れっしゃのはっしゃじこくにおくれてしまった。 





心がこもる 


その人の気持ちや、真心がうかがわれる。 

どんなに高価なおくりものより、あなたの心がこもった一言は、わたしを勇気づけてくれた。 





馬力をかける 


いちだんとかんばってしごとをする。 



そつぎょうせいさくのレリーフは、もうすぐかんせいなので、さらに馬力をかけよう。 





頭が痛い 

心配ごとがあって、頭が痛くなるほど思いなやむ。 


し いくがかり
飼育係になったが、メダカの世話がむずかしくて頭が痛い。 



うま あ
馬が合う 


おたがいにきもちがよく合う。 

わたしとかずこさんとは馬が合って、しゅくだいやあそびを
いつもいっしょにするなかだ。 





ひぎをうつ 


はっと気がついたことがあったり、かんしんしたりするとき
のようす。 

じっと考えこんでいた兄は「わかった」と大声を出し、ひぎ
をうった。 




たねをまく 


あるものごとをひきおこすげんいんをつくる。 

けんかのたねをまいたのは弟のほうだ。 




かみなりをおとす 


かみなりが鳴るような大声でどなりしかる。 

まどガラスをわったら、おじさんにかみなりをおとされた。 





たいこばんをおす 


ぜったいにだいじょうぶだとせきにんをもつ。 

かれの絵は、てんらん会かいでにゅうせんすると、先生がたいこ
ばんをおした。 




われ わす
我を忘れる 

ものごとに気をとられて、夢中になってしまう。 

うんどうかい こうはく
運動会の紅白リレーは、大接戦たいせつせんになり、ぼくたちは我を忘れ
て応援した。 



はな
花をもたせる 

わぎとまけてやったり、手がらをあい手にゆずってやったり

する。↵

ゲームで、いつもぼくがまけているものだから、今日は姉がぼくに花をもたせてくれたようだ。↵

↵

いばらの道↵

とげのあるいばらの生えている道のように、くるしみやこんなんの多い人間の一生のたとえ。↵

そばは長いいばらの道をのりこえて、自分でこうふくをつかんだ。↵

↵

おねをなでおろす↵

心配ごとがなくなり、ほっとする。一安心する。↵

せいせきが心配したほど下がっていなかったの、おねをなでおろした。↵

↵

いじをはる↵

自分の考えを、どこまでもおし通そうとする。↵

妹はこまっているのに、いじをはって、しゅくだいの助けをことわっている。↵

↵

目を通す↵

書き物など一通りざっと見る。↵

父はしゅっきん前、かならず新聞に目を通す。↵

↵

口をそろえる↵

大ぜいの人と同じことを言う。↵

チームのゆうしょうには、みんなが口をそろえて「ばんざい」とさげんだ。↵

↵

気がきく↵

細かいところに心が行きとどく。↵

新聞と一緒にろうがんきょうを用意するとは、よく気がきくまごだね。↵

頭あたまに入れる

よくりかいして、しっかりとおぼえておく。

ちゅういじこうをしっかりと頭あたまに入れて、遠足えんそくに出かけよう。

大ぶろしきひろを広げる

實際じっさいにありえないようなことを大げさおおに言ったり、実行じっこうできそうもないことをできるように自まんじしたりする。

おじさんはいい人ひとだが、大ぶろしきひろを広げるくせがある。

足あしがぼうになる

歩あるいたり、立たったりしつづけていたので、足あしがひどくつかれる。

さんぼずきの父ちちについていったら、足あしがぼうになってしまった。

口くちを出す

自分じぶんとは関係かんけいのないものごとや話はなしなどにわりこむ。

兄弟きょうだいげんかに口くちを出しても、どうにもならない。

こしがひくい

人ひとにたいしていばったりせず、いつもていねいであいそがよい。

こしのひくい町長ちょうちょうさんは、町まちの人ひとびとから親したしまれている。

あぶらを売る

しごとのとちゅうでなまけたり、おだ話ばなしなどをして時間じかんをつぶしたりする。

道みちで友人ゆうじんに会い、あぶらを売うっていたら、ピアノのけいこにおくれってしまった。

顔かおが広い

世よの中なかの人ひとによく知しられていて、知しり合あいが多い。

顔かおが広い先生せんせいは、町まちの人ひととよくつきあい、人にん気き者ものである。